

## 2008年度

科目名  ゼミナールII	対象学科・学年 教育教福4回生	担当者  高村 博正
授業テーマ 3年生のときに行った実習と討論の結果を出発点にして、英語教育の可能性を考える。または、自由研究。		
授業の概要と目標： 英語というキーワードを核として、各自が自由な研究を行う。英語以外のテーマ・ジャンル・視点でももちろん構わない。各種の研究方法の紹介や実習は前期に行い、後期は各自が設定した研究目標にむかって実践する方向に進みたい。イマジネーションをふくらませて、意義のある一年の教育・研究活動を体験させたい。 ★今年度は、毎週個人研究室において全員が集合し、個人指導を受ける。		
評価方法 評価方法： 前期・後期の定期試験の他に、毎回の個人指導の内容と成果が評価の対象になる。毎回の評価点（100点満点）の積算を講義回数で割り、その6割以上獲得が基本となる。優良可の評価は従来通り。欠席は-20点を加算。遅刻は当日の全得点を半減する。		
テキスト 自の研究目標にあわせて指導する	著者	出版社
参考書 授業中に印刷物（ハンドアウト）で適宜知らせる。	著者	出版社
授業スケジュール・内容  1. 入門講義と年間スケジュールの発表 2. 過去の幼教学生の研究テーマ調査と討論 3. 各自の研究テーマ総合紹介と討論 4. 研究テーマ発表と紹介① 5. 研究テーマ発表と紹介② 6. 研究テーマ発表と紹介③ 7. 研究テーマ発表と紹介④ 8. 研究テーマ発表と紹介⑤ 9. 研究資料収集と実践と個人指導① 10. 研究資料収集と実践と個人指導② 11. 研究資料収集と実践と個人指導③ 12. 研究資料収集と実践と個人指導④ 13. 研究資料収集と実践と個人指導⑤ 14. 前期テスト 15. 後期講義とゼミナールの計画発表 16. 口頭発表と討論① 17. 口頭発表と討論② 18. 口頭発表と討論③ 19. 口頭発表と討論④ 20. 口頭発表と討論⑤ 21. 口頭発表と討論⑥ 22. 口頭発表と討論⑦ 23. 口頭発表と討論⑧ 24. 口頭発表と討論⑨ 25. 全員集合：各自のテーマ発表会（26～30回目は卒論指導に特化して、個人指導時間とする）		